小出川中下流部における2020年の鳥類･動植物の記録

Record of Birds Plants and Animals Species in the Middle and Lower Reaches of Koide River 2020, Chigasaki, Kanagawa Prefecture

自然資料整理グループ[1)]･馬谷原武之[2)]

CCM Volunteer Group(Natural History)[1)] ･Takeyuki MAYAHARA[2)]

はじめに

神奈川県茅ヶ崎市の西部を南北に流れる小出川は,神奈川県藤沢市の遠藤笹窪を源流としており,茅ヶ崎市内の小出地区,鶴嶺地区を流れ相模川河口へ流れる全長12.5kmの一級河川である. 2018年1月から2020年2月に行った小出川中下流部の鳥類・動植物の調査(自然資料整理グループ・馬谷原 2019, 2020)に引き続き,2020年1月から2月,2020年9月から12月,2021年1月から3月までの調査結果を報告する.

過去の小出川における調査では,水辺を好む鳥類が多数確認されている(樋口 2001; 小室・須藤 2008).調査地の西久保橋-萩園橋間の東側に広がる西久保地区の水田は,以前は冬鳥のタゲリ(*Vanellus vanellus*)の飛来が確認されていたが,近年は近隣の自動車専用道路の整備,水田や周囲の環境の変化の影響か,この地区へのまとまった飛来は確認されていない(樋口 2010; 樋口・平田 2016, 2018, 2020). 本報告に関連して小出川における冬季の鳥類の記録として2018年1月の記録(馬谷原 ほか 2018),2018年,2019年の1年間の記録(自然資料整理グループ・馬谷原 2019, 2020)がある.2019年に行った1年間の調査では計50種の鳥類が確認され,植物は河川の土手環境を中心に植物131種,他動物種は簡易調査として昆虫21種,クモ類1種,両生類1種,爬虫類1種,哺乳類1種の痕跡(モグラ穴塚 Molehills)が確認されている(自然資料整理グループ・馬谷原 2020).

調査地は周辺の開発や河川の護岸,土砂の浚渫等の河川改修工事等により,常に環境が変化している.2018年,2019年に引き続き,現在の状況における年間の動植物・環境の記録保存を目的として,夏季(8月)及び,世界的な新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の蔓延状況により調査を中止した期間を除き,鳥類を主とし,合わせて他動植物や河川環境状況について毎月1回調査範囲を踏査し,確認種の記録を行った.

方法

1)調査概要

調査地：神奈川県茅ヶ崎市小出川中下流部約2km.(図1：調査範囲模式図,図2：調査区間詳細).

調査区間は各橋梁を基準として,大曲橋,西久保橋付近から浜園橋までの中流域約1200m,浜園橋から下町屋橋までの下流域約800mを対象とした(図2).

近年の状況として,土砂の浚渫等の河川改修工事が進められてきたことにより,河川の状況は随時変化がある.

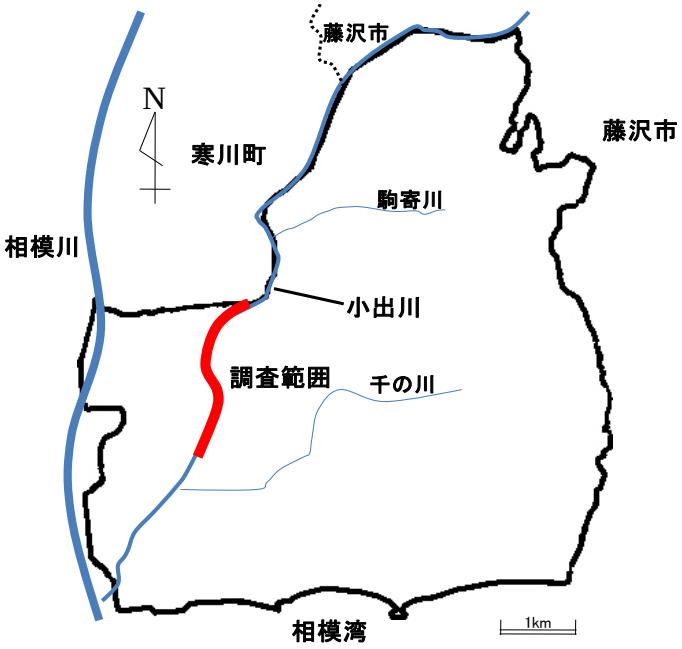

図 1 茅ヶ崎市全体図 調査範囲模式図

表 1 調査日時・状況等

年月日	調査時間	天候	風速
2020.1/10	9:40-12:15	晴	弱
2020.2/12	9:40-12:30	晴	弱
2020.9/9	9:40-13:00	晴	なし
2020.10/14	9:40-13:00	晴	なし
2020.11/11	9:40-12:40	晴	なし
2020.12/9	9:40-12:40	晴	なし
2021.1/13	9:40-12:40	晴	なし
2021.2/10	9:40-12:40	晴	弱
2021.3/10	9:40-12:40	晴	なし

小出川中流域(寺尾橋－大曲橋－浜園橋)は,主に茅ヶ崎市と寒川町の行政境を流れており,周辺は宅地と農地が混在し,近年では宅地化が進んでいる.河道は多自然川づくりの一環として,覆土した護岸で整備しており,河道内には部分的に州が形成されている(神奈川県 2015). 下流域(浜園橋－下町屋橋－富士見橋付近)は,茅ヶ崎市を流れ,川沿いに住宅が近接している.右岸側は小出川に沿って新湘南バイパスが整備されている.河道はブロック積護岸が整備されており,水際部に自然な寄州が形成されている(神奈川県 2015).

調査日時：

2020.1月-2月,2020.9月-12月,2021.1月-3月,各月 1 回,計9回(表1). ※例年3月から7月についても調査を行っているが,世界的な新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 蔓延の影響により,状況に合わせ調査日程の縮小や変更を行った.

調査区間：

No.1:西久保橋上流側(大曲橋)→西久保橋,
No.2:西久保橋→萩園橋, No.3:萩園橋→浜園橋,
No.4:浜園橋→新鶴嶺橋, No.5:新鶴嶺橋→中原橋, No.6:中原橋→下町屋橋(図2).

2)調査内容

調査項目：踏査による鳥類,他動植物,河川環境状況の確認記録

調査区間の土手を上流から下流に向け踏査し,目視や双眼鏡で各区間の水域,陸域や上空で確認された鳥類,他動植物,河川環境状況の記録を各調査区間で行った.

植物は花期の物を中心として記録し,他に調査地の環境を表すものとして注目されるものについて記録した.また,環境を表す植物種を除き,上流からの踏査の中で最初に確認された調査区間でのみ記録を行い,以後個別の区間での記録は行わなかった. 他動物類については簡易調査とし,各調査区間で特に注目されたもののみ記録した.

鳥類分類,学名は「日本鳥類目録改訂第7版」(日本鳥学会 2012)等に従った.他動植物は「神奈川県植物誌2018 電子版」(神奈川県植物誌調査会編 2018),「BG Plants 和名-学名インデックス」(YList) http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist_main.html(米倉・梶田 2003-), 昆虫

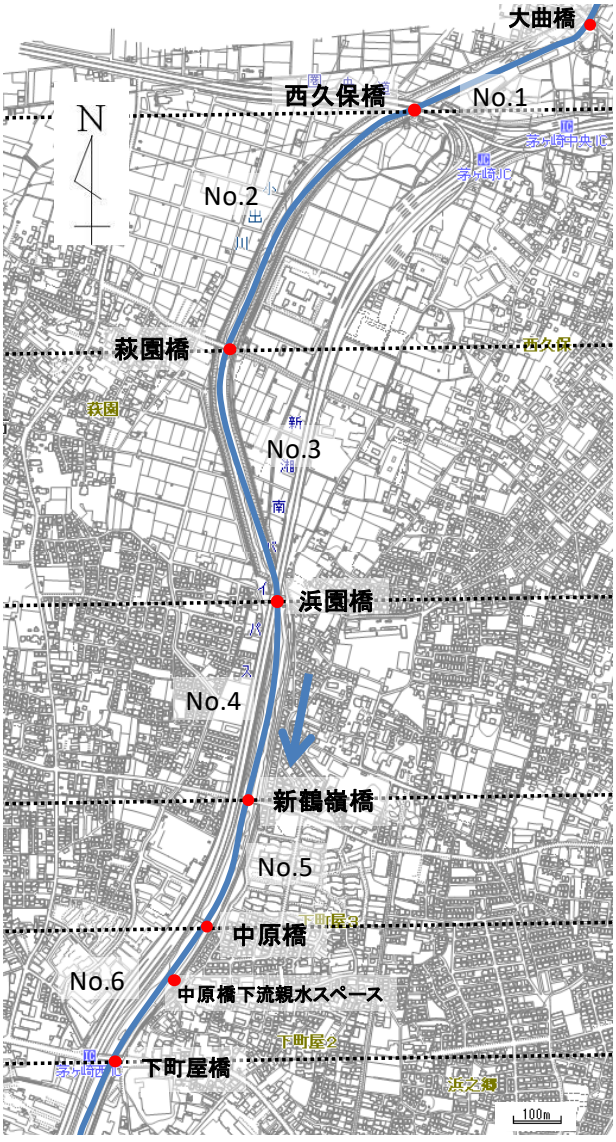

図 2 調査区間詳細

学データベース(KONCHU) http://konchudb.agr.agr.kyushu-u.ac.jp/index-j.html(リンク切れ), 国立環境研究所　侵入生物データベース https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/, 鈴木 茂 (2017-)日本列島の甲虫全種目録 (2020年) https://japanesebeetles.jimdofree.com/, 写真で見る生物の系統と分類 - 生きもの好きの語る自然誌 https://tonysharks.com/Tree_of_life/Tree_of_life.html等を参考とし,他図鑑等をもちいた.調査区間詳細の図は1/10000地形図(茅ヶ崎市 2015)をもちいた.

結果・考察

1) 鳥類の記録

表2に調査により確認された全体の鳥類の目録と確認時期,表3-1,3-2に各調査区間(各橋梁間)の確認種数一覧を示す.

本年は春季から夏季 (2020.3月-7月) にかけての調査が行われていないが,秋季と冬季においては引き続き2018年,2019年と同様の傾向がみられた.

今回の調査期間全体において計41種(全季節の調査においては,2019年48種,2018年は50種確認されている.)の鳥類が確認された.当地は調査地全体にさまざまな環境が存在しており,各生息環境に合わせ,水辺,上空,川原や土手,周辺陸部,丘陵地や平地,田畑,公園等に生息する多くの種が確認される.多くの種を確認した月は2018,2019年と同様に冬季で,2020年1月に32種,2020年2月に30種,2021年1月に26種確認された.これらは例年と同様に主に冬鳥で,水鳥であるカモ類等の飛来地となる様な水辺環境が成り立っており,それらの環境が維持されている為と考えられる.また,確認種が少なかった月は2020年9月で,11種確認された.

多くの種を確認した区間は2018,2019年同様,ある程度の規模のヨシ原がみられ,水田が隣接するNo.1(西久保橋上流側(大曲橋)→西久保橋),No.2(西久保橋→萩園橋)からNo.3(萩園橋→浜園橋)である. 数年に渡り土砂の浚渫等の河川改修工事が行われ,河川内の植物は工事時にはヨシ原を含め刈り取られ裸地状態となる.その際はヨシ原を利用する種の生息環境は減少するが,その後復元していく状態が見られる.

一部の鳥類についてピックアップして述べる.全域,全調査日で水鳥のカモ科が多くみられ,2018年からの傾向は変化していない. 留鳥のカルガモ(*Anas zonorhyncha*)は変わらず全調査日で確認された. 冬鳥のヒドリガモ(*Anas penelope*)は本年も個体数が多く,No.1からNo.3でコンスタントに数十個体から100個体を超える個体数が確認され,2020年12月にNo.2で136個体確認された.水辺に生息するバン(*Gallinula chloropus chloropus*)や,オオバン(*Fulica atra atra*)が全域でコンスタントに確認された. 水田や湿地に飛来するシギ科タシギ(*Gallinago gallinago gallinago*)は,2020年1月,2月にNo.2で2個体,2021年1月にNo.3で1個体,2021年3月にNo.1で1個体確認された. 2021年1月調査時,No.2でアメリカヒドリ(*Anas americana*)とヒドリガモのハイブリッド個体(*Anas americana*×*Anas penelope*)と考えられるヒドリガモ頭部緑色個体1個体が確認された.

調査日が秋季から冬季のみであるが,全体で多種,多数の鳥類が確認され,特にNo.1からNo.3にかけては種や種数が多い. 継続して河川を中心に多様な生息環境が成立している状態と考えられる.

2) その他動植物等

野鳥調査の踏査と合わせ,各調査区間で確認された植物・他動物種を表4,各調査区間の河川環境状況を表5,確認された他動物種(昆虫類,他動物)の目録を表6,植物種の目録を表7に示す. 調査地は全体的に河川両岸に草地環境が広がり,河川内中州にも植物が確認される.

調査の結果,河川の土手環境を中心に植物は109種(全季節の調査においては,2019年136種,2018年131種)確認された. 河川内にはヨシ(*Phragmites australis*),マコモ(*Zizania latifolia*),ヒメガマ(*Typha domingensis*)等の湿地性植物の群落

が確認されている.河川改修工事で刈り取られる等により一時的に消失するものの,調査地全域においては他地点にそれらの環境が成立している.また,河川改修工事により河川内の整備,植物刈り取りにより一時的に裸地状態となり,その後裸地状態から植生が戻る状況が確認されている.

他動物種は簡易調査として昆虫類は22種確認され,トンボ類や土手の草地環境等に生息する種が確認された. 他,タニシの1種(*Viviparidae* sp.),ミシシッピアカミミガメ(*Trachemys scripta elegans*),モグラ穴塚 (Molehill s)などが確認された.

河川内に生育する特定外来生物に指定されているナガエツルノゲイトウ(*Alternanthera philoxeroides*)は,冬季には枯れている様にみえる群落も多く,河川改修工事時には河川内の植物は全て刈り取られるが,夏季に複数の群落が繁茂し水面を覆う状態は変わっておらず,水面全体が覆われている状況が確認されている.また,河川改修工事等で一時的に刈り取られた状態が見られていたが,基部や一部分は残り繁殖していると考えられる.今回の調査でも,2018年,2019年同様カモ類が摂食している状況が確認されている.

まとめ

今回の鳥類を中心とした網羅的調査で2018年から2020年に渡る3年間の調査データを記録保存することができた. また,河川改修工事が行われ,その後環境の変化が見られたものの,2018年,2019年と同様に多様な種が確認された.

調査地の河川と周辺部はヨシ原,湿地,河川改修工事後の裸地,裸地からの植生復元,管理された土手,草地,周辺田畑,宅地等さまざまな環境が含まれている.今後,これらの調査データを元に数年毎に調査を行うことにより,長年に渡る河川や周辺環境の変化による環境の変遷,動植物の生息状況,鳥類の生息や飛来状況の変化等の関連性を確認することができると考えられる.

謝辞

調査において茅ヶ崎市文化資料館自然資料整理グループ,文化資料館と活動する会自然部会のメンバー,茅ヶ崎市文化資料館にご協力頂いた.深く御礼申し上げる.

引用文献

樋口公平(2001)千ノ川下流域、小出川中下流域の鳥相について. 文化資料館調査研究報告(9),pp1-7.

樋口公平(2010)茅ヶ崎市,寒川町,藤沢市におけるタゲリ一斉調査10年間(1999-2008年度)について. 文化資料館調査研究報告(19),pp15-18.

樋口公平・平田稔(2016)茅ヶ崎市,寒川町,藤沢市,伊勢原市,平塚市におけるタゲリ一斉調査(2013,2014年度)について. 文化資料館調査研究報告(25),pp23-28.

樋口公平・平田稔(2018)茅ヶ崎市,寒川町,藤沢市,伊勢原市,平塚市におけるタゲリ一斉調査(2015,2016年度)について. 文化資料館調査研究報告(27),pp15-19.

樋口公平・平田稔(2020)茅ヶ崎市,寒川町,藤沢市,伊勢原市,平塚市におけるタゲリ一斉調査(2017,2018年度)について. 文化資料館調査研究報告(29),pp1-5.

神奈川県(2015)相模川水系小出川・千の川河川整備計画. http://www.pref.kanagawa.jp/docs/f4i/cnt/f70089/documents/764956.pdf

神奈川県植物誌調査会編(2018)神奈川県植物誌2018 電子版. 1803pp. 神奈川県植物誌調査会, 小田原.

国立環境研究所 侵入生物データベース. https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/(2021年2月3日).

小室明彦・須藤格(2008)茅ヶ崎市における野鳥分布調査について. 文化資料館調査研究報告(17),pp21-30.

昆虫学データベース(KONCHU). http://konchudb.agr.agr.kyushu-u.ac.jp/index-j.html(2019年2月20日),リンク切れ(2021年2月3日).

馬谷原武之・久保有生・須藤格・自然資料整理グループ(2018)小出川中下流部における冬季の鳥類の記録-2018-. 文化資料館調査研究報告(27),pp29-33.

日本鳥学会 (2012) 日本鳥類目録改訂第7版. 438pp. 日本鳥学会,三田.

自然資料整理グループ・馬谷原武之(2019)小出川中下流部における年間の鳥類・動植物の記録-2018-. 文化資料館調査研究報告(28),pp29-39.

自然資料整理グループ・馬谷原武之(2020)小出川中下流部における2019年の鳥類・動植物の記録.文化資料館調査研究報告(29),pp7-19.

写真で見る生物の系統と分類 - 生きもの好きの語る自然誌. https://tonysharks.com/Tree_of_life/Tree_of_life.html (2021年2月3日).

鈴木 茂 (2017-)日本列島の甲虫全種目録 (2020年). https://japanesebeetles.jimdofree.com/ (2021年2月3日).

米倉浩司・梶田忠 (2003-) BG Plants 和名－学名インデックス」(YList). http://ylist.info (2021年2月3日).

1) 茅ヶ崎市文化資料館自然資料整理グループ
石井準子・河村まき子・河野正子・小室明彦
倉川典夫・齊藤由美・鈴木節雄・野田典子・渡辺俊子
Chigasaki City Museum Of Heritage(CCM) volunteer group(Natural History)

2) 茅ヶ崎市教育委員会社会教育課
茅ヶ崎市文化資料館
Chigasaki City Museum Of Heritage

表 2 確認された鳥類目録

科名	種名	学名	2020. 1/10	2020. 2/12	2020. 9/9	2020. 10/14	2020. 11/11	2020. 12/9	2021. 1/13	2021. 2/10	2021. 3/10
キジ科	キジ	Phasianus colchicus robustipes		○							
カモ科	ヒドリガモ	Anas penelope	○	○			○	○	○	○	○
	マガモ	Anas platyrhynchos platyrhynchos	○	○			○	○	○	○	○
	カルガモ	Anas zonorhyncha	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ハシビロガモ	Anas clypeata						○	○	○	
	コガモ	Anas crecca crecca	○	○			○	○	○	○	○
カイツブリ科	カイツブリ	Tachybaptus ruficollis	○	○						○	
	カンムリカイツブリ	Podiceps cristatus	○								
ハト科	キジバト	Streptopelia orientalis orientalis	○		○			○			
	カワラバト（ドバト）	Columba livia	○	○	○	○	○	○	○		
ウ科	カワウ	Phalacrocorax carbo hanedae	○	○			○	○	○	○	○
サギ科	アオサギ	Ardea cinerea jouyi	○	○	○	○	○	○	○		○
	ダイサギ	Ardea alba alba	○	○	○	○	○	○	○	○	
	コサギ	Egretta garzetta garzetta	○	○		○	○	○	○	○	
クイナ科	クイナ	Rallus aquaticus indicus		○							
	バン	Gallinula chloropus chloropus	○	○		○	○	○	○	○	○
	オオバン	Fulica atra atra	○	○		○	○	○	○	○	○
チドリ科	イカルチドリ	Charadrius placidus		○					○		
シギ科	タシギ	Gallinago gallinago gallinago	○	○					○	○	
タカ科	トビ	Milvus migrans lineatus	○	○			○		○	○	
	ノスリ	Buteo japonicus	○								
カワセミ科	カワセミ	Alcedo atthis bengalensis	○	○	○	○	○	○			○
キツツキ科	コゲラ	Dendrocopos kizuki nippon	○								
ハヤブサ科	チョウゲンボウ	Falco tinnunculus interstinctus			○	○	○				
モズ科	モズ	Lanius bucephalus bucephalus	○	○		○	○	○	○		○
カラス科	ハシボソガラス	Corvus corone orientalis		○	○		○	○		○	
	ハシブトガラス	Corvus macrorhynchos japonensis	○				○		○		○
シジュウカラ科	シジュウカラ	Parus minor minor	○	○					○		○
ツバメ科	ツバメ	Hirundo rustica gutturalis			○						
ヒヨドリ科	ヒヨドリ	Hypsipetes amaurotis amaurotis	○	○		○		○	○	○	○
ウグイス科	ウグイス	Cettia diphone cantans						○	○	○	○
メジロ科	メジロ	Zosterops japonicus	○	○						○	
ムクドリ科	ムクドリ	Spodiopsar cineraceus	○	○	○	○		○	○	○	○
ヒタキ科	シロハラ	Turdus pallidus		○							
	アカハラ	Turdus chrysolaus	○								
	ツグミ	Turdus naumanni eunomus					○	○	○	○	○
	イソヒヨドリ	Monticola solitarius philippensis				○			○		
スズメ科	スズメ	Passer montanus saturatus	○	○	○	○	○	○	○		○
セキレイ科	ハクセキレイ	Motacilla alba lugens	○	○		○	○	○	○	○	○
アトリ科	カワラヒワ	Chloris sinica minor	○	○		○	○	○	○		○
ホオジロ科	アオジ	Emberiza spodocephala personata	○	○						○	

表 3-1 各調査区間の確認種

調査区画	No.1大曲橋→西久保橋									No.2 西久保橋→萩園橋									No.3 萩園橋→浜園橋								
種名 ｜調査日	2020. 1/10	2020. 2/12	2020. 9/9	2020. 10/14	2020. 11/11	2020. 12/9	2021. 1/13	2021. 2/10	2021. 3/10	2020. 1/10	2020. 2/12	2020. 9/9	2020. 10/14	2020. 11/11	2020. 12/9	2021. 1/13	2021. 2/10	2021. 3/10	2020. 1/10	2020. 2/12	2020. 9/9	2020. 10/14	2020. 11/11	2020. 12/9	2021. 1/13	2021. 2/10	2021. 3/10
キジ		1																									
ヒドリガモ	40						60	6	23	51	120			7 (♂4, ♀3)	136	60 (+1(Hb))		11	18						11	27	1
マガモ						4 (♂3, ♀1)		6			8 (♂4, ♀4)			6 (♂3, ♀3)	2 (♂1, ♀1)	1	2 (♂1, ♀1)	3 (♂2, ♀1)	17 (♂8, ♀9)	9 (♂4, ♀5)			4 (♂2, ♀2)	2 (♂1, ♀1)	9 (♂4, ♀5)		4 (♂3, ♀1)
カルガモ		1 (死亡個体)		1		12	15	67	4		70	3	4	27	7		20	4	14	6	1		4	4	3	20	4
ハシビロガモ								1							4 (♂1, ♀3)	1(♀1)	2										
コガモ	5					9	8		6 (♂3, ♀3)	3 (♂2, ♀1)	9 (♂4, ♀5)			6	20	21	4	13 (♂7, ♀6)	1 (♂1)	1 (♂1, ♀1)			2		9 (♂5, ♀4)	1	2 (♂1, ♀1)
カイツブリ																										1	
カンムリカイツブリ																											
キジバト			1																								
カワラバト（ドバト）					200					100	100	11	200		50	200											
カワウ	2						1			3				1	5	1			3								1
アオサギ	1	1	1		1	1	1		1		1	1		2					1		1	1	1	1			
ダイサギ			1	2	1		1				1		2		2								1	5			
コサギ		1					1	1					1				1		1				1	1	1	1	
クイナ																				1							
バン								2		2	6				3	1			5	9		3	1	4	7	1	4
オオバン	78						35		55	3	80		2	3	22	17	20	5	1	3		1	1	3	12	7	1
イカルチドリ							3									2											
タシギ								1		2 (♂1, ♀1)	2														1		
トビ							1	2			3			2					1	1					2		
ノスリ										1																	
カワセミ									1			1	1										1				
コゲラ																			1								
チョウゲンボウ			1																			1	1(♀1)				
モズ							1		2	1 (♀1)			1		2 (♂1, ♀1)					1 (♂1)							1 (♂1)
ハシボソガラス		17			2							15					2						20	1			
ハシブトガラス					1		1		9					11													
シジュウカラ							1											3									
ツバメ												3															
ヒヨドリ						1	2	3		1	12					2	1	2		3		3		1	5		2
ウグイス																										1	1
メジロ																	2										
ムクドリ		3	6	7		1		1	6						40		1		7	13	1			4	1		13
シロハラ																											
アカハラ																											
ツグミ		1					1	1		3	2								1								1
イソヒヨドリ													1(♂1)														
スズメ				5	30				10		16	9				55											
ハクセキレイ	2	3			2	2	3	1	2	2			2	1	3	1	1	1								1	
カワラヒワ							3				2		5						3				3	15			2
アオジ								2																			

表 3-2 各調査区間の確認種

調査区画	No.4 浜園橋→新鶴嶺橋									No.5 新鶴嶺橋→中原橋									No.6 中原橋→下町屋橋							
種名 ｜調査日	2020. 1/10	2020. 2/12	2020. 9/9	2020. 10/14	2020. 11/11	2020. 12/9	2021. 1/13	2021. 2/10	2021. 3/10	2020. 1/10	2020. 2/12	2020. 9/9	2020. 10/14	2020. 11/11	2020. 12/9	2021. 1/13	2021. 2/10	2021. 3/10	2020. 1/10	2020. 2/12	2020. 9/9	2020. 10/1	2020. 11/11	2020. 12/9	2021. 1/13	2021. 2/10	2021. 3/10
キジ																											
ヒドリガモ																	1										
マガモ						2 (♂1, ♀1)	2																				2 (♂2)
カルガモ	13		2		2	4			2		3		5				2	2						8			
ハシビロガモ							2										1 (♂1)										
コガモ	3 (♀3)	7 (♂3, ♀4)				2	2			5 (♂1, ♀4)	13 (♂6, ♀7)					3				4 (♂2, ♀2)			2				
カイツブリ																			1	2							
カンムリカイツブリ																			1								
キジバト																								2			
カワラバト（ドバト）			4		4							3							28								
カワウ	2							2		1	1			1					1	1					3		
アオサギ	2	1				1				1	1	2		2	1	1			1	1			1	1	1		
ダイサギ																3	1		1	1			1		3		
コサギ																	1		1						1	1	
クイナ																											
バン										1	2		1	1		1									3		
オオバン	11	1				3	4	5		2	1			2					22	35				7	6	4	6
イカルチドリ		1																									
タシギ																											
トビ																											
ノスリ																											
カワセミ	1 (♂1)				2	1				2 (♂1, ♀1)										1				1			
コゲラ										2 (♂1, ♀1)									1								
チョウゲンボウ																											
モズ		1 (♂1)		1	1					2 (♂1, ♀1)	1 (♀1)				1 (♀1)												
ハシボソガラス		3																						1			
ハシブトガラス																											
シジュウカラ	2	2								12									1						1		
ツバメ																											
ヒヨドリ		2				1	4								7	3									2		2
ウグイス																1								1			
メジロ	15	1								2									15								
ムクドリ		13		7								1															
シロハラ											1																
アカハラ										1																	
ツグミ		1			1	2									1				1								
イソヒヨドリ													1(♂1)						1						1(♀1)		
スズメ	12	14			30	31	40				1																
ハクセキレイ	1					2																					
カワラヒワ		5		7																			3				
アオジ	2	1																									

表 4　各調査区間で確認された動植物

	No.1大曲橋→西久保橋 開花等植物・他生物等		No.2西久保橋→萩園橋 開花等植物・他生物等		No.3萩園橋→浜園橋 開花等植物・他生物等		No.4浜園橋→新鶴嶺橋 開花等植物・他生物等		No.5新鶴嶺橋→中原橋 開花等植物・他生物等		No.6中原橋→下町屋橋 開花等植物・他生物等
2020. 1/10	セイヨウタンポポ	他生物等 ミシシッピアカミミガメ×1 モグラ塚	ヨシ ナガエツルノゲイトウ		コガマ ヨシ ギシギシ ナガエツルノゲイトウ(少) ヘラオオバコ (ロゼット状)	オニノゲシ ノゲシ セイヨウタンポポ 他生物等 ミシシッピアカミミガメ×1	ヨシ ナガエツルノゲイトウ(少)		ヨシ ナガエツルノゲイトウ(少)		ヨシ マコモ ナガエツルノゲイトウ(少)
2020. 2/12	イヌムギ スズメノカタビラ タネツケバナ オランダミミナグサ コハコベ	シロザ イヌホオズキsp. ノボロギク ノゲシ オニタビラコ	オギ ススキ ヨシ カラシナ	アレチギシギシ ナガバギシギシ ギシギシ セイヨウタンポポ	コガマ オギ ススキ ヨシ		スイセン オギ ススキ ヨシ ウメ ヤナギsp.		オギ ススキ ヨシ ヤナギsp.(3本) ナガエツルノゲイトウ(少)		オギ ススキ ヨシ マコモ ヤナギsp.(3本) カラシナ ナガエツルノゲイトウ(少)
2020. 9/9	オモダカ クサネム(花・種)※希少種 キンゴジカ ナガエツルノゲイトウ オオブタクサ(増加) アメリカオニアザミ アメリカタカサブロウ	他生物等 シオカラトンボ♀ ウリハムシ ヤマトシジミ スズメガ幼虫	ツユクサ メヒシバ カタバミ ナガエツルノゲイトウ	他生物等 オオカマキリ	コガマ シマスズメノヒエ クズ ナガエツルノゲイトウ コセンダングサ	他生物等 アブラゼミ ナガコガネグモ	メリケンカルカヤ オヒシバ コスズメガヤ ナガエツルノゲイトウ クコ		ヤブガラシ ハギsp. エノキ(果実多数) ナガエツルノゲイトウ オオブタクサ(繁茂)		コガマ メヒシバ オヒシバ オギ ヨシ セイバンモロコシ マコモ イタドリ ナガエツルノゲイトウ ヘクソカズラ 野鳥確認できず
2020. 10/14	シンテッポウユリ ヒガンバナ ヤブツルアズキ ナガエツルノゲイトウ アカネ マメアサガオ マルバアサガオ ホシアサガオ	他生物等 モンシロチョウ ヤマトシジミ ウラナミシジミ ヒメジャノメ 水田の中にタニシsp.多数	シマツユクサ キンエノコロ カラスウリ エノキグサ キンゴジカ アメリカキンゴジカ ナガエツルノゲイトウ コセンダングサ	他生物等 ギンヤンマ ヒメヒラタアブsp. キタキチョウ モンシロチョウ ヤマトシジミ	ヒメガマ シナダレスズメガヤ オギ ススキ チカラシバ ヨシ キンゴジカ ミチヤナギ ナガエツルノゲイトウ コセンダングサ(群落) アキノノゲシ	他生物等 モンシロチョウ ヤマトシジミ ウラナミシジミ イチモンジセセリ	クワイ オギ ススキ ヨシ セダムsp. カナムグラ アレチウリ ナガエツルノゲイトウ オオフタバムグラ	オオブタクサ(増加) セイタカアワダチソウ(群落) 他生物等 キタキチョウ モンシロチョウ	オギ ススキ ヨシ セイバンモロコシ ビラカンサ(実) オオナワシログミ エノキ(実) クワクサ イモカタバミ イタドリ ナガエツルノゲイトウ	クコ ブタクサ カントウヨメナ ブタナ 他生物等 ヒメヒラタアブ ヤマトシジミ キタテハ	オギ ススキ ヨシ セイバンモロコシ マコモ オッタチカタバミ ナガエツルノゲイトウ オオアレチノギク ブタナ セイタカアワダチソウ
2020. 11/11	ジュズダマ ススキ アキノエノコログサ ノブドウ イヌタデ ヒナタイノコヅチ ナガエツルノゲイトウ シロザ イヌホオズキsp.	セイタカアワダチソウ(増加) ホウキギク キヅタ 他生物等 モンシロチョウ ヤマトシジミ ウラナミジャノメ	ボントクタデ ナガエツルノゲイトウ アレチハナガサ オオジシバリ ノゲシ セイヨウタンポポ	他生物等 アキアカネ オオカマキリ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ ツマグロヒョウモン	ヒメガマ オギ ススキ チカラシバ ヨシ カタバミ ナガエツルノゲイトウ オオフタバムグラ セイタカアワダチソウ セイヨウタンポポ	他生物等 ハラビロカマキリ モンシロチョウ ウラナミシジミ ヤマトシジミ イチモンジセセリ チョウゲンボウ、ビルの上でハラビロカマキリ捕獲	クワイ オギ ススキ ヨシ オオナワシログミ(実) エノキ(実) アレチウリ(多数) ナガエツルノゲイトウ ハマヒサカキ(花) クコ	コスモス(増加) ブタナ セイタカアワダチソウ 他生物等 クサカゲロウの卵(ウドンゲの花)	オギ ススキ ヨシ アレチウリ ヤナギsp. ナガエツルノゲイトウ		マコモ アレチウリ ヤナギsp. ナガエツルノゲイトウ セイタカアワダチソウ
2020. 12/9	メヒシバ ヒメアシボソ ススキ セイバンモロコシ ノブドウ コマツヨイグサ ナガエツルノゲイトウ シロザ	テリミノイヌホオズキ コセンダングサ アメリカオニアザミ 他生物等 ウラナミシジミ	シロツメクサ セイヨウアブラナ ギシギシ ナガエツルノゲイトウ ホトケノザ ヒメジョオン	他生物等 アキアカネ イチモンジセセリ カモ類(ハシビロガモ、ヒドリガモ)枯れナガエツルノゲイトウ頻繁に捕食	ヒメガマ(中州) オギ(両岸) ススキ(両岸) ヨシ(両岸) キンエノコロ ナガエツルノゲイトウ コセンダングサ	オニノゲシ セイヨウタンポポ 他生物等 オオカマキリ クサカゲロウの卵(ウドンゲの花)	オギ ススキ ヨシ ナガエツルノゲイトウ ハマヒサカキ(花) (植栽) セイタカアワダチソウ	他生物等 ヤマトシジミ	オギ ススキ ヨシ マコモ ナワシログミ(植栽) エノキ(実)(植栽) ナガエツルノゲイトウ		イチョウ(紅葉) メタセコイア(紅葉) 他生物等 クヌギカメムシ
2021. 1/13	ナガエツルノゲイトウ マルバアメリカアサガオ ※実 アメリカイヌホオズキ コセンダングサ セイタカアワダチソウ ノゲシ キヅタ	他生物等 アカボシゴマダラ羽化殻×4(エノキ) ダイサギがカナヘビを捕食	ナガエツルノゲイトウ	他生物等 カモ類ナガエツルノゲイトウ採食 ヒドリガモ頭緑色1個体(アメリカヒドリとヒドリガモのハイブリッド(Hb))	ヒメガマ イヌムギ オギ ススキ ヨシ ナガエツルノゲイトウ セイヨウタンポポ		オギ ススキ ヨシ ウメ ナガエツルノゲイトウ	他生物等 ミシシッピアカミミガメ×5	オギ ススキ ヨシ マコモ ナガエツルノゲイトウ		オギ ヨシ ヤナギsp. ナガエツルノゲイトウ
2021. 2/10	タネツケバナ コハコベ ナガエツルノゲイトウ ノボロギク	他生物等 ミシシッピアカミミガメ	カワヅザクラ (三分咲き) セイヨウアブラナ タネツケバナ ナガエツルノゲイトウ	他生物等 ハシボソガラス(巣材を運んでいる)	ヒメガマ ススキ オギ ヨシ シロツメクサ ナガエツルノゲイトウ ホトケノザ		オギ ススキ ヨシ アレチウリ ナガエツルノゲイトウ セイタカアワダチソウ		オギ ススキ ヨシ マコモ ナガエツルノゲイトウ		オギ ススキ ヨシ ナガエツルノゲイトウ
2021. 3/10	コハコベ ナガエツルノゲイトウ ヤエムグラ ホトケノザ	オニタビラコ ヒメオドリコソウ ノゲシ ヒロハホウキギク	カンヒザクラ ハルメキ(桜) セイヨウアブラナ ナガエツルノゲイトウ カントウタンポポ	他生物等 モンシロチョウ ミシシッピアカミミガメ×11	カントウタンポポ	他生物等 モンシロチョウ ミシシッピアカミミガメ×2	ナガエツルノゲイトウ		カラシナ		カラシナ

表 5 各調査区間の河川環境状況

□：未調査

	No.1大曲橋→西久保橋	No.2西久保橋→萩園橋	No.3萩園橋→浜園橋	No.4浜園橋→新鶴嶺橋	No.5新鶴嶺橋→中原橋	No.6中原橋→下町屋橋
	河川や周囲の環境	河川や周囲の環境	河川や周囲の環境	河川や周囲の環境	河川や周囲の環境	河川や周囲の環境
2020. 1/10	水量 少 中州なし 水流 小 川幅広い 土手両岸草刈り 土砂浚渫工事中、土砂むき出し ナガエツルノゲイトウなし (工事で切り取られている)	水量 少 中州なし 水流 小 川幅広い 土手両岸草刈り 両岸植物なし(川岸に多少ヨシあり) ナガエツルノゲイトウあり (葉は枯れてはいない様子。水鳥が摂食)	水量 中 中州あり 水流 小 両岸植物あり(ヨシ、コガマ)	水量 少 中州あり(砂地) 水流 小 両岸植物あり(ヨシ等繁茂)	水量 少 中州あり 水流 小 両岸植物あり(ヨシ等繁茂)	水量 少 中州あり(少々) 水流 小 両岸植物あり(ヨシ等繁茂)、マコモ群生
2020. 2/12	水量 多 中州なし 水流あり 川幅広い 土手両岸草刈り ナガエツルノゲイトウなし	水量 少 中州なし 水流なし 川幅広い 土手両岸草刈り ナガエツルノゲイトウなし 河川内にヨシ、オギ、ススキ繁茂	水量 少 中州あり 水流あり 川幅狭い 土手両岸草刈り ナガエツルノゲイトウなし 河川内にヨシ、オギ、ススキ、コガマ繁茂	水量 少 中州あり 水流あり 川幅狭い ナガエツルノゲイトウなし 河川内にヨシ、オギ、ススキ繁茂	水量 少 中州あり 水流なし 川幅狭い ナガエツルノゲイトウあり(少) 河川内中部、両岸にヨシ、オギ、ススキ繁茂	水量 多 中州なし 水流あり 川幅狭い ナガエツルノゲイトウあり(少) 河川内中部、両岸にヨシ、オギ、ススキ、マコモ
2020. 9/9	水量 多(左岸用水より) 中州なし 稲実る(熟し黄金色) 水田減 ナガエツルノゲイトウ増	水量 多 中州なし 稲実る(熟し黄金色) 土手両岸草刈り済 ナガエツルノゲイトウ河川両岸増	水量 多 中州あり 土手両岸植物多い ナガエツルノゲイトウ河川両岸増 中州コガマ目立つ	水量 多 中州あり 川幅狭 植物繁茂 ナガエツルノゲイトウ中州周辺、河川両岸増	水量 多 中州あり 土手両岸植物多い ナガエツルノゲイトウ増	水量 多 中州あり(マコモ・ガマ・ヨシ・オギ繁茂) 土手両岸植物多い ナガエツルノゲイトウ2019年より増
2020. 10/14	水量 多 中州なし 水流 早 川幅広い 土手両岸草刈り 川端は植物あり 稲刈り済み ナガエツルノゲイトウ川幅が狭く増	水量 多 中州なし 水流 早 川幅広い 土手両岸草刈り 川端は植物あり 稲刈り済み ナガエツルノゲイトウ川幅が狭く増	水量 少 中州あり 水流 小 土手両岸草刈り 川端は植物あり ナガエツルノゲイトウ増、河川内覆い、川幅狭	水量 少 中州あり 水流 小 川幅狭くヨシ多い 川端は植物あり ナガエツルノゲイトウ増、河川内覆い、川幅狭	水量 少 中州あり 水流 小 両岸植物繁茂 川端植物繁茂、土砂多い ナガエツルノゲイトウ増	水量 少 中州あり 水流 小 川幅狭くヨシ、マコモ繁茂 両岸植物繁茂(ヨシ、オギ、ススキ、マコモ) 川端植物繁茂 ナガエツルノゲイトウ広がり川幅狭い ヤナギ、中州・川の両側増
2020. 11/11	水量 中 中州あり 水流 小 土手両岸草刈り ナガエツルノゲイトウ増	水量 中 中州なし 水流 小 土手両岸草刈り ナガエツルノゲイトウ増、川の両側に広がり川幅を狭くしている	水量 中 中州あり 水流 小 中州にヒメガマ繁茂 土手両岸草刈り箇所と残されている箇所あり ナガエツルノゲイトウ増、川の両側に広がり川幅を狭くしている	水量 少 中州あり 水流 小 川幅狭く草木茂る 川の両側土砂多く、草木がはびこり、川の流れをふさいでいる 川両岸土砂草刈りなし ナガエツルノゲイトウ川幅を狭くしている	水量 少 中州あり 水流 小 川の両側土砂多く、草木がはびこり、川幅を狭くしている ナガエツルノゲイトウ繁茂 オギ・ススキ・ヨシ多	水量 少 中州あり(小) 水流 小 川の両側土砂多く、川幅狭い ナガエツルノゲイトウ繁茂
2020. 12/9	水量 少 中州あり 土手両岸草刈り ナガエツルノゲイトウ両側繁茂	水量 少 中州なし 土手両岸草刈り済み ナガエツルノゲイトウ繁茂、両側に広がっている	水量 中 中州あり 土手両岸草刈り済み 河川内両岸草はびこる ナガエツルノゲイトウ繁茂 中州にヒメガマ 河川両岸にヨシ・オギ・ススキ	水量 中 中州あり 川幅狭い(ヨシ・オギ・ススキ・セイタカアワダチソウ) ナガエツルノゲイトウ両岸多い	水量 中 中州なし 川幅狭い(ヨシ・オギ・ススキ・セイタカアワダチソウ) ナガエツルノゲイトウ両岸多い	
2021. 1/13	水量 少 中州あり(小) 土手両岸草刈り ナガエツルノゲイトウ両側繁茂	水量 少 中州なし 土手両岸草刈り 川幅植物で狭い ナガエツルノゲイトウ両側繁茂	水量 中 中州あり 土手両岸草刈り済み 河川内両岸草はびこる 川幅植物で狭い ナガエツルノゲイトウ繁茂し、流れを妨げている	水量 少 中州なし 河川内両側ヨシ・オギ・ススキ繁茂 川幅狭く、ナガエツルノゲイトウ両側はびこる	水量 少 中州なし 河川内両側ヨシ・マコモ・オギ・ススキ・ナガエツルノゲイトウ繁茂、川幅狭く両側はびこる	水量 少 中州あり 河川内両側ヨシ・オギ・ヤナギ・ナガエツルノゲイトウ繁茂、川幅狭く両側はびこる
2021. 2/10	水量 中 中州あり 土手両岸草刈り 川幅広い ナガエツルノゲイトウ繁茂	水量 少 中州なし 土手両岸草刈り 川幅狭い ナガエツルノゲイトウ繁茂、川幅を狭くしている	水量 少 中州あり 土手両岸草刈り済み 川幅狭い ナガエツルノゲイトウ少	水量 少 中州あり 川幅狭く土手なし 河川両端ヨシ・オギ・ススキ ナガエツルノゲイトウ繁茂、川幅狭める	水量 大 中州あり 川幅広く土手なし ナガエツルノゲイトウ両岸に繁茂	水量 大 中州なし 川幅狭く河川両端ヨシ・オギ・ススキ繁茂 ナガエツルノゲイトウ繁茂
2021. 3/10	水量 中 中州あり 流れあり 土手両岸草刈り ナガエツルノゲイトウ枯れ	水量 中 中州あり 流れなし 土手両岸草刈り ナガエツルノゲイトウ枯れ	水量 中 中州あり 水流 小 土手一部草刈り ヨシ、オギ、ススキ、ヒメガマ枯れ ナガエツルノゲイトウなし	水量 少 水流 小 ナガエツルノゲイトウ枯れ	水量 少 中州あり(小) 水流 小 川幅狭い 土手一部草刈り ヨシ、オギ枯れ ヤナギ芽吹き ナガエツルノゲイトウなし	水量 大 中州あり 水流 小 川幅狭い 土手一部草刈り ヨシ、オギ繁茂 ヤナギ芽吹き ナガエツルノゲイトウなし

表 6 確認された動物種(簡易調査)

目名	科名	種名	学名
トンボ目	ヤンマ科	ギンヤンマ	Anax parthenope
	トンボ科	シオカラトンボ	Orthetrum albistylum speciosum
		アキアカネ	Sympetrum frequens
カマキリ目	カマキリ科	オオカマキリ	Tenodera aridifolia
		ハラビロカマキリ	Hierodula patellifera
カメムシ目	セミ科	アブラゼミ	Graptopsaltria nigrofuscata
	クヌギカメムシ科	クヌギカメムシ	Urostylis westwoodi
アミメカゲロウ目	クサカゲロウ科	クサカゲロウsp. 卵	Chrysoperla sp.
コウチュウ目	ハムシ科	ウリハムシ	Aulacophora indica
ハエ目	ハナアブ科	ヒメヒラタアブsp.	Sphaerophoria sp.
チョウ目	シロチョウ科	キタキチョウ	Eurema mandarina
		モンシロチョウ	Pieris rapae
	シジミチョウ科	ベニシジミ	Lycaena phlaeas
		ウラナミシジミ	Lampides boeticus
		ヤマトシジミ	Pseudozizeeria maha
	タテハチョウ科	ツマグロヒョウモン	Argyreus hyperbius
		キタテハ	Polygonia c-aureum
		アカボシゴマダラ羽化殻	Hestina assimilis assimilis
		ウラナミジャノメ	Ypthima multistriata
		ヒメジャノメ	Mycalesis gotama
	セセリチョウ科	イチモンジセセリ	Parnara guttata
	スズメガ科	スズメガsp. 幼虫	Sphingidae sp.

目名	科名	種名	学名
原始紐舌目	タニシ科	タニシsp.	Viviparidae sp.

目名	科名	種名	学名
クモ目	コガネグモ科	ナガコガネグモ	Argiope bruennichi

目名	科名	種名	学名
カメ目	ヌマガメ科	ミシシッピアカミミガメ	Trachemys scripta elegans
有鱗目	カナヘビ科	ニホンカナヘビ	Takydromus tachydromoides

目名	科名	確認状況	
トガリネズミ形目	モグラ科	モグラ穴塚	Molehills

表 7 確認された植物目録

科名 種名	学名
Ginkgoaceae イチョウ科	
イチョウ	Ginkgo biloba L.
Cupressaceae ヒノキ科	
メタセコイア	Metasequoia glyptostroboides Hu et W.C.Cheng
Alismataceae オモダカ科	
オモダカ	Sagittaria trifolia L.
クワイ	Sagittaria trifolia L. 'Caerulea'
Liliaceae ユリ科	
シンテッポウユリ	Lilium x formolongo Hort.
Amaryllidaceae ヒガンバナ科	
ヒガンバナ	Lycoris radiata (L'Hér.) Herb.
スイセン	Narcissus tazetta L.
Commelinaceae ツユクサ科	
ツユクサ	Commelina communis L.
シマツユクサ	Commelina diffusa Burm.f.
Typhaceae ガマ科	
ヒメガマ	Typha domingensis Pers.
ガマ	Typha latifolia L.
コガマ	Typha orientalis C.Presl
Poaceae イネ科	
メリケンカルカヤ	Andropogon virginicus L.
イヌムギ	Bromus catharticus Vahl
ジュズダマ	Coix lacryma-jobi L.
メヒシバ	Digitaria ciliaris (Retz.) Koeler
オヒシバ	Eleusine indica (L.) Gaertn.
シナダレスズメガヤ	Eragrostis curvula (Schrad.) Nees
コスズメガヤ	Eragrostis minor Host
ヒメアシボソ	Microstegium vimineum (Trin.) A.Camus f. willdenowianum (Nees) Osada
オギ	Miscanthus sacchariflorus (Maxim.) Benth.
ススキ	Miscanthus sinensis Andersson
シマスズメノヒエ	Paspalum dilatatum Poir.
チカラシバ	Pennisetum alopecuroides (L.) Spreng.
ヨシ	Phragmites australis (Cav.) Trin. ex Steud.
スズメノカタビラ	Poa annua L.
アキノエノコログサ	Setaria faberi R.A.W.Herrm.
キンエノコロ	Setaria pumila (Poir.) Roem. et Schult.
セイバンモロコシ	Sorghum propinquum (Kunth) Hitchc.
マコモ	Zizania latifolia (Griseb.) Turcz. ex Stapf
Crassulaceae ベンケイソウ科	
セダムsp.	Sedum sp.
Vitaceae ブドウ科	
ノブドウ	Ampelopsis glandulosa (Wall.) Momiy. var. heterophylla (Thunb.) Momiy.
ヤブカラシ	Causonis japonica (Thunb.) Raf.
Onagraceae アカバナ科	
コマツヨイグサ	Oenothera laciniata Hill
Fabaceae マメ科	
クサネム	Aeschynomene indica L.
ハギsp.	Lespedeza sp.
クズ	Pueraria lobata (Willd.) Ohwi
シロツメクサ	Trifolium repens L.
ヤブツルアズキ	Vigna angularis (Willd.) Ohwi et H.Ohashi var. nipponensis (Ohwi) Ohwi et H.Ohashi
Rosaceae バラ科	
カンヒザクラ	Cerasus campanulata (Maxim.) Masam. et S.Suzuki
カワヅザクラ	Cerasus × kanzakura 'Kawazu-zakura'
ハルメキ	Cerasus 'Harumeki'
ウメ	Armeniaca mume (Siebold et Zucc.) de Vriese
トキワサンザシ	Pyracantha coccinea M.Roem.
Elaeagnaceae グミ科	
ナワシログミ	Elaeagnus pungens Thunb.
オオナワシログミ	Elaeagnus x submacrophylla Servett.
Cannabaceae アサ科	
カナムグラ	Humulus scandens (Lour.) Merr.
Moraceae クワ科	
クワクサ	Fatoua villosa (Thunb.) Nakai
Cucurbitaceae ウリ科	
アレチウリ	Sicyos angulatus L.
カラスウリ	Trichosanthes cucumeroides (Ser.) Maxim. ex Franch. et Sav.
Oxalidaceae カタバミ科	
イモカタバミ	Oxalis articulata Savigny
カタバミ	Oxalis corniculata L.
オッタチカタバミ	Oxalis dillenii Jacq.
Euphorbiaceae トウダイグサ科	
エノキグサ	Acalypha australis L.

科名 種名	学名
Salicaceae ヤナギ科	
ヤナギsp.	Salix sp.
Brassicaceae アブラナ科	
カラシナ	Brassica juncea (L.) Czern.
セイヨウアブラナ	Brassica napus L.
タネツケバナ	Cardamine occulta Hornem.
Malvaceae アオイ科	
キンゴジカ	Sida rhombifolia L. subsp. Rhombifolia
アメリカキンゴジカ	Sida spinosa L.
Polygonaceae タデ科	
イタドリ	Fallopia japonica (Houtt.) Ronse Decr. var. japonica
イヌタデ	Persicaria longiseta (Bruijn) Kitag.
ボントクタデ	Persicaria pubescens (Blume) H.Hara
ミチヤナギ	Polygonum aviculare L. subsp. Aviculare
アレチギシギシ	Rumex conglomeratus Murray
ナガバギシギシ	Rumex crispus L.
ギシギシ	Rumex japonicus Houtt.
Caryophyllaceae ナデシコ科	
オランダミミナグサ	Cerastium glomeratum Thuill.
コハコベ	Stellaria media (L.) Vill.
Amaranthaceae ヒユ科	
ヒナタイノコヅチ	Achyranthes bidentata Blume var. fauriei (H.Lév. et Vaniot)
ナガエツルノゲイトウ	Alternanthera philoxeroides (Mart.) Griseb.
シロザ	Chenopodium album L.
Ternstroemiaceae モッコク科	
ハマヒサカキ	Eurya emarginata (Thunb.) Makino
Rubiaceae アカネ科	
ヤエムグラ	Galium spurium L. var. echinospermon (Wallr.) Desp.
オオフタバムグラ	Hexasepalum teres (Walter) J.H.Kirkbr.
ヘクソカズラ	Paederia foetida L.
アカネ	Rubia argyi (H.Lév. et Vaniot) H.Hara ex Lauener et D.K.Ferguson
Convolvulaceae ヒルガオ科	
マルバアメリカアサガオ	Ipomoea hederacea Jacq. var. integriuscula A.Gray
マメアサガオ	Ipomoea lacunosa L.
マルバアサガオ	Ipomoea purpurea (L.) Roth
ホシアサガオ	Ipomoea triloba L.
Solanaceae ナス科	
クコ	Lycium chinense Mill.
テリミノイヌホオズキ	Solanum americanum Mill.
アメリカイヌホオズキ	Solanum ptychanthum Dunal
イヌホオズキsp.	Solanum sp.
Plantaginaceae オオバコ科	
ヘラオオバコ	Plantago lanceolata L.
Lamiaceae シソ科	
ホトケノザ	Lamium amplexicaule L.
ヒメオドリコソウ	Lamium purpureum L.
Verbenaceae クマツヅラ科	
アレチハナガサ	Verbena brasiliensis Vell.
Asteraceae キク科	
ブタクサ	Ambrosia artemisiifolia L.
オオブタクサ	Ambrosia trifida L.
カントウヨメナ	Aster yomena (Kitam.) Honda var. dentatus (Kitam.) H.Hara
コセンダングサ	Bidens pilosa L. var. pilosa
アメリカオニアザミ	Cirsium vulgare (Savi) Ten.
コスモス	Cosmos bipinnatus Cav.
アメリカタカサブロウ	Eclipta alba (L.) Hassk.
ヒメジョオン	Erigeron annuus (L.) Pers.
オオアレチノギク	Erigeron sumatrensis Retz.
ブタナ	Hypochaeris radicata L.
オオジシバリ	Ixeris japonica (Burm.f.) Nakai
アキノノゲシ	Lactuca indica L.
ノボロギク	Senecio vulgaris L.
セイタカアワダチソウ	Solidago altissima L.
オニノゲシ	Sonchus asper (L.) Hill
ノゲシ	Sonchus oleraceus L.
ホウキギク	Symphyotrichum subulatum (Michx.) G.L.Nesom var. subulatum
ヒロハホウキギク	Symphyotrichum subulatum (Michx.) G.L.Nesom var. squamatum (Spreng.) S.D.Sundb.
セイヨウタンポポ	Taraxacum officinale Weber ex F.H.Wigg.
カントウタンポポ	Taraxacum platycarpum Dahlst.
オニタビラコ	Youngia japonica (L.) DC.
Araliaceae ウコギ科	
キヅタ	Hedera rhombea (Miq.) Bean

植物分類はAPGⅢ体系による